

ソトコトノハ 殿



Serial Number : SKH0001

温室効果ガス排出量削減への貢献証明書

CO₂ 1t

地球温暖化は、世界的な天候不順、海水面の上昇、作物への影響などをもたらし、私たちの生活を脅かすと考えられています。その原因とされる温室効果ガスの削減は今や世界的な課題です。1997年に京都で開催された気候変動枠組条約締約国会議で採択された京都議定書で、日本は温室効果ガスの排出量を2008年から2012年の間に基準年(原則1990年)に比べ6%削減することを約束しております。2005年には京都議定書は発効、世界的に温室効果ガスを削減しようとする努力が本格化しています。

日本でも長年、省エネ技術により温室効果ガスの削減に努めてきており、1990年には既に国際的にみて高いエネルギー効率を達成していました。このため、大幅な温室効果ガスの削減は容易ではなく、6%削減という厳しい目標を達成するためには、改善余地の大きな途上国と協力して、地球規模で温室効果ガスを削減する取り組みも必要になってきています。

排出権は京都議定書の目標達成のための工夫の一つであり、自国以外で行った温室効果ガス削減事業の効果を議定書参加国が合意した手続きに基づき客観的に証明したものであり、目標に達しなかった場合に超過分を相殺するために使うことが出来ます。

わが国でも政府は目標達成のため排出権活用を決めており、企業の中にも排出権を介し目標達成に貢献しようとするところもあります。しかし、大企業や国に頼るだけでなく、我々一人ひとりも生活の場で温室効果ガスの削減に向けて努力し、また排出権を通じた更なる貢献についても取り組む必要があると考えます。

月刊ソトコトを発行する木楽舎は、2007年9月、温暖化ガス削減事業に取り組むオランダ・ベルギーのFORTIS銀行から、国際協力銀行の協力を得て、国連により承認されたプロジェクトより得られた1万トンCO₂相当の排出権を購入いたしました。この証明書は、木楽舎を介して、アプリケーション「ソトコトノハ」をご利用いただいた方が1トンCO₂相当の温室効果ガス排出削減に貢献したことを意味するものです。木楽舎は、皆様方の協力により購入した排出権を、責任を持って、管理し、気候変動枠組条約・京都議定書において日本国が約束した温室効果ガス排出削減目標(1990年比-6%)達成のために活用することをお約束します。

識別番号 : BR-000-000-028-526-400

2011年9月30日
株式会社 木楽舎
代表取締役 月刊ソトコト編集長
小黒

